

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称:

梅田スカイビルにおける、空調熱源2次ポンプの  
変揚程変流量制御装置による電力削減事業

排出削減事業者名: 積水ハウス梅田オペレーション株式会社

排出削減事業共同実施者名: 環境経済株式会社

その他関連事業者名:

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	積水ハウス梅田オペレーション株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	梅田スカイビル
住所	〒531-6023 大阪市北区大淀中1丁目1番
排出削減事業共同実施者(国内クレジット保有予定者)	
排出削減事業共同実施者名	環境経済株式会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減事業概要

### 2.1 排出削減事業の名称

梅田スカイビルにおける、ホテル冷水系統および高層冷水系統送水ポンプの変揚程変流量制御装置導入による排出削減事業

### 2.2 排出削減事業の目的

冷水系統および高層冷水系統送水ポンプに省エネルギーシステムを導入して消費電力を削減することにより、エネルギーコストを削減するとともに、CO2排出量を削減して環境保全活動に取り組む。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既設の送水ポンプ(インバーターによる圧力一定制御)に、変揚程変流量制御装置を追加導入し、部分負荷時の送水ポンプ回転数を下げることで電力使用量を削減し、エネルギー効率を改善する。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか？	■はい □いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか？	■はい □いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

## 3 排出削減活動期間

### 3.1 プロジェクト開始日

2011年 8月 1日

### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ~ 2019年7月31日

## 4 温室効果ガス排出削減量

### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
005	間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入

### 4.2 活動量

#### 4.2.1 活動量・原単位

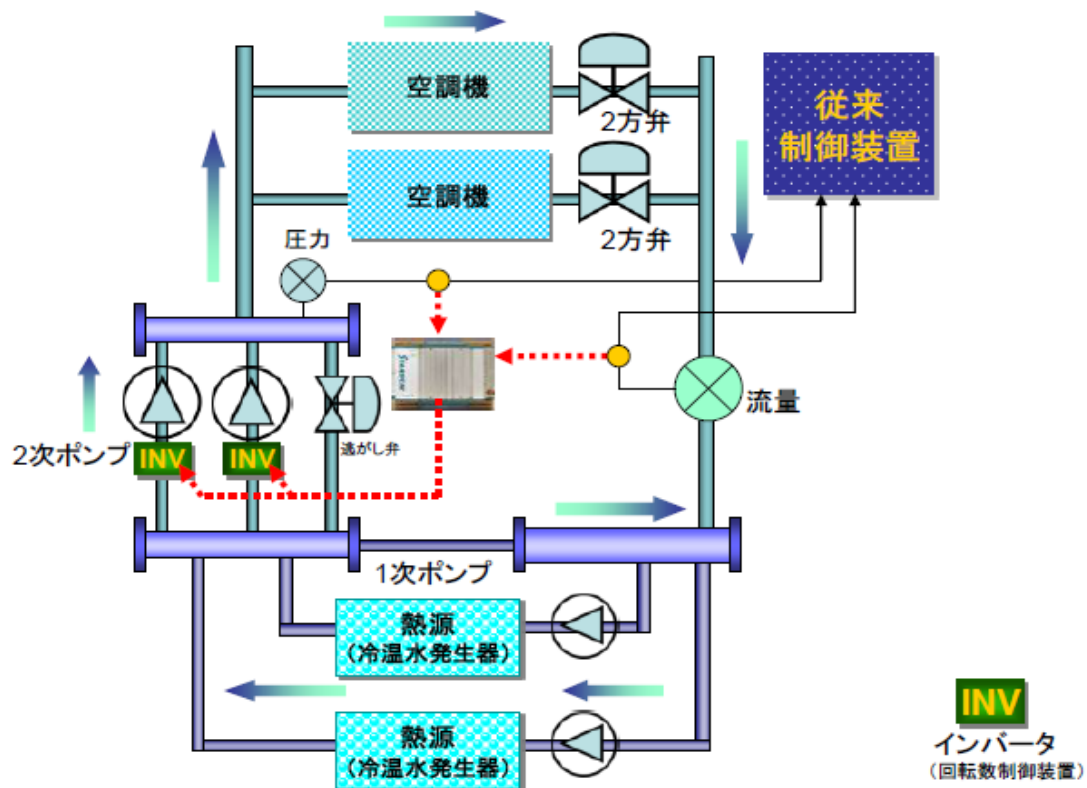
対象	活動量	原単位
ホテル冷水系統および高層冷水系統における2次送水ポンプ	稼働時間 (h)	対象設備電力使用量 (kWh)
		稼働時間 (h)

#### 4.2.2 活動量の採用根拠

事業実施前、及び実施後の活動量には、空調設備のエネルギー使用量に最も影響を与える活動量である稼働時間を採用する。

### 4.3 事業の範囲(バウンダリー)

2次ポンプおよび、変揚程変流量制御によるポンプの出力の及ぶ範囲。



## 5 モニタリング対象指標

排出削減事業計画7.1項を参照して記載。記載内容に変更のある場合、変更理由を項目ごとに記載すること。

項目	定義	単位	実績値		モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合) 変更理由
EL <sub>BL</sub>	事業実施前 電力使用量	kWh	862,869		2013年4月1日～2014年1月31日	
		kWh	5,659,405		2014年2月1日～2019年7月31日	
$\alpha_{BL}$	事業実施前 活動量	h	8,760		中央監視システムにて計測	
EL <sub>PJ</sub>	事業実施後 電力使用量	kWh	718,934		エコノパイロットで自動計測、 2013年4月1日～2014年1月31日	
		kWh	3,717,124		エコノパイロットで自動計測、 2013年4月1日～2014年1月31日	
$\beta_{PJ}$	事業実施後 活動量	h	7,344		エコノパイロットで自動計測、 2013年4月1日～2014年1月31日	
		h	48,168		エコノパイロットで自動計測、 2014年2月1日～2019年7月31日	
CF <sub>electricity</sub>	電力の排出係数	t-CO <sub>2</sub> /kWh	2013年度	0.000559	J-クレジット制度における限界電源のデフォルト値 (2013年度)(1年以上2.5年未満)	
			2013年度	0.000570	J-クレジット制度における全電源のデフォルト値 (2013年度)	
			2014年度	0.000554	J-クレジット制度における全電源のデフォルト値 (2014年度)	
			2015年度	0.000531	J-クレジット制度における全電源のデフォルト値 (2015年度)	
			2016年度	0.000516	J-クレジット制度における全電源のデフォルト値 (2016年度)	
			2017年度	0.000496	J-クレジット制度における全電源のデフォルト値 (2017年度)	
			2018年度	0.000463	J-クレジット制度における全電源のデフォルト値 (2018年度)	

## 7 排出削減量の計算

### 7.1 事業実施後排出量

	活動量 (kWh)	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
2013年4月1日～2014年1月31日	718,934		0.000559	401.9
2014年2月1日～2014年3月31日	103,596		0.000570	59.0
2014年4月1日～2015年3月31日	806,419		0.000554	446.8
2015年4月1日～2016年3月31日	647,277		0.000531	343.7
2016年4月1日～2017年3月31日	648,622		0.000516	334.7
2017年4月1日～2018年3月31日	583,477		0.000496	289.4
2018年4月1日～2019年7月31日	927,734		0.000463	429.5
$EM_{pj}$				2,305

### 7.2 ベースライン排出量

活動量 (kWh)	活動量 (kWh)	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
2013年4月1日～2014年1月31日	862,869		0.000559	482.3
2014年2月1日～2014年3月31日	166,370		0.000570	94.8
2014年4月1日～2015年3月31日	1,029,239		0.000554	570.2
2015年4月1日～2016年3月31日	1,032,059		0.000531	548.0
2016年4月1日～2017年3月31日	1,029,239		0.000516	531.1
2017年4月1日～2018年3月31日	1,029,239		0.000496	510.5
2018年4月1日～2019年7月31日	1,373,259		0.000463	635.8
$EM_{BL}$				3,372

### 7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
$LE$			0

### 7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	CO2排出量 (t-CO2)
ベースライン排出量 (7.2)	$EM_{BL}$	3,372.0
事業実施後排出量 (7.1)	$EM_{pj}$	2,305.0
リークージ排出量 (7.3)	$LE$	0
温室効果ガス排出削減量	$ER$	1,067

## 8 省エネルギー量

原油換算		
ベースライン (①)	実績(2)	ベースライン- 実績(①-②)
1,642.4	1,117.0	525.4

## 9 再生可能エネルギー利用量

	単位	モニタリング期間( 年 月 日 ~ 年 月 日)		
		エネルギー使用量(実績)	熱量換算(GJ)(実績)	原油換算(kl)(実績)